令和８年度宮崎県健康づくり推進協議会議事概要

日時　令和８年１０月２８日（水）
　　午後２時から午後３時３０分まで
場所　県庁防災庁舎２階共用会議室

１　あいさつ

健康増進課長

２　議事

（１）健康みやざき行動計画 21（第３次）に基づく県の取組について　（説明：事務局）

①健康づくり推進体制及び宮崎県の主な取組【資料１、資料２、参考資料】

（会長）

スポーツ振興課の事業でウォーキングアプリ SALKO が令和 7 年度末で終了とあるが、背景について教えてほしい。

（委員）

全国に先駆けて取り組んできたが、スマートフォンの OS 進化に伴いシステム対応が難しくなったことが最大の理由。また、民間企業でも多様なアプリが普及・定着し、一定の役割を果たしたと判断した。

（委員）

直近値が出ていない項目も多く効果判断が難しいが、令和 17 年の目標年度に向け、今後どの時点で判断をするのか。また「こっそり適塩」は非常に面白い取り組みなので拡大してほしい。

（事務局）

計画の数値は、主に概ね 5～6 年ごとに実施する県民健康栄養調査の結果を用いており、次回は令和 10 年度に県民健康栄養調査実施し、令和 11 年度の中間評価で評価・計画の見直しを行う予定としている。こっそり適塩については、令和 6～7 年度のモデル的実施を経て、令和 8 年度からは複数事業者が参画できる体制へ変更している。

（会長）

受動喫煙に関して、喫茶店や小さな飲食店で全館タバコ OK の店舗が散見される。条件付きで認められていると思うが、働く従業員への影響や、今後の規制・指導状況はどうなっているか？

（事務局）
改正健康増進法により第 2 種施設は原則屋内禁煙だが、令和 2 年 4 月 1 日時点で営業している既存の小規模飲食店には経過措置基準がある。ただし 20 歳未満は喫煙エリア立ち入り禁止となっている。従業員（20 歳以上）への配慮は店舗側の配慮事項となる。

（委員）
働く世代（総年層）の歩数増加・運動定着には企業トップの考え方が大きく影響するが、働く世代に向けた具体的な働きかけは。がん検診について、フリーランスの人は検診を受けない傾向が強い。フリーランスへの対策は。

（事務局）
働く世代の運動不足は大きな課題である。ナッジ理論を活用した情報発信のほか、あるこうやプロジェクトを企業等で展開し、歩数増加を図りたい。がん検診について、フリーランスの方へ特化した取組は無いが、SNS 等を通じて広く検診受診を呼びかけている。

②令和８年度の主要な取組（説明：事務局）
・健康的な食環境づくり推進協議会の設置（栄養・食生活）【資料３】
・プラス 1,000 歩あるこうやプロジェクト（身体活動・運動）【資料４】

（委員）
あるこうやの動画は２分半程度とのことなので、研修会の待ち時間や休憩時間に活用できると感じた。

（会長）
健康的な食環境づくり推進協議会を設置することについては、異論は無いか？
→異議無し。承認。

（２）部会の取組について（説明：事務局）
①二次医療圏地域・職域連携推進協議会の取組状況【資料５－１、５－２】
②宮崎県糖尿病・慢性腎臓病（CKD）対策検討会の取組【資料６】

（会長）
日本糖尿病協会・学会において「糖尿病」という病名による誤解や偏見を考慮し、アルファベット表記（JADEC）への移行が進んでいる。従来配布されていた「糖尿病連携手帳」は、

令和７年度発行分より JADEC 連携手帳に名称変更された。現在は過渡期のため両方の名称が混在しているが、順次切り替わっていく。

（委員）
県が配布している手帳は、名称は変更しないのか。

（事務局）
県では糖尿病手帳を作成しておらず、日本糖尿病協会から購入したものを使用している。

（３） 健康みやざき行動計画２１（第３次）の中間評価について （説明：事務局）

【資料７】

（委員）
中間評価は令和１１年度ということだが、最終評価のスケジュールはいつになるか。

（事務局）
令和 16 年度に調査を実施し、令和 17 年度に最終評価および次期（第 4 次）計画策定を行う予定である。

３ その他

（会長）
全体を通して意見は無いか。

（委員）
若年層や妊婦（妊娠中の飲酒防止等）に対しては、紙やホームページ（関心がある人しか見ない）よりも、Instagram などの SNS やインフルエンサーを活用した動画発信の方が圧倒的に届く。紙媒体から若年層が「自分ごと」として捉えられる SNS 発信へ移行すべき。

（事務局）
対象に合わせて SNS も活用していきたい。

（委員）
資料２の糖尿病の指標で「HbA1c 8.0%以上割合」が目標に掲げられているが、基準が高すぎないか。正常値の基準も下がっており、ボーダーライン層の生活改善成果を捉えるためにも、もう少し低い値を目標指標にした方が良いのでは無いか。また、他県から 4 月に赴任し

たが、仕事終わりに安心して歩ける明るいウォーキングスポットがどこにあるか SNS 等で分からない。夜間歩けるスポットなどの情報発信があると嬉しい。

（事務局）
HbA1c の数値基準設定の経緯については、他計画等との整合性を改めて確認し、回答する。

（会長）
県として多角的に健康づくりに取り組んでいることを実感した。新設される食環境推進協議会のように、無関心層でも「自然に健康になれる」入り口を作り、循環させていく取り組みが重要であると考える。
その他、委員からの情報提供などは無いか？

（委員）
令和 8 年 11 月 1 日に宮崎県訪問看護総合支援センターが設置される。（チラシ配布）

（事務局）
令和 8 年 12 月 12 日（土）に宮崎県循環器病県民公開講座を開催する。（チラシ配布）